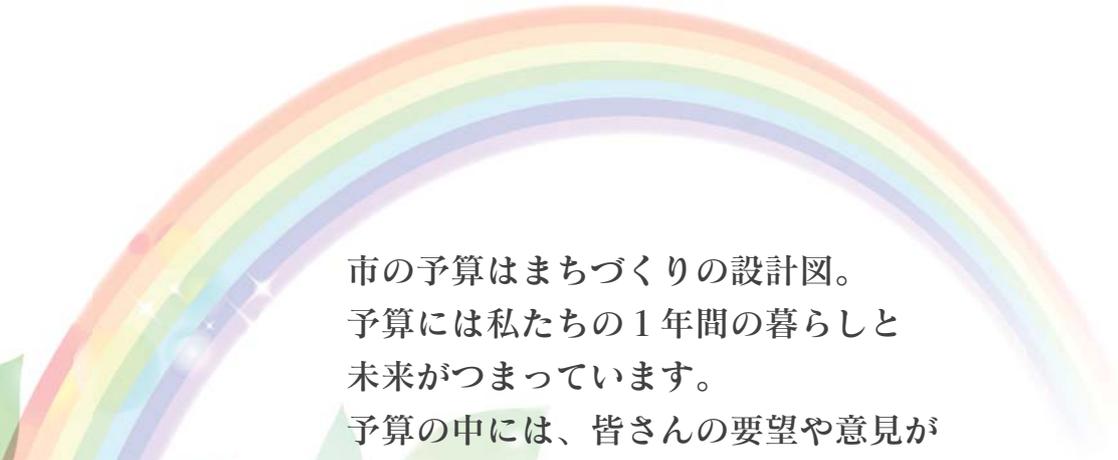




2019年度版わかりやすい予算書

私たちの横手 2019

～予算はまちづくりの設計図～



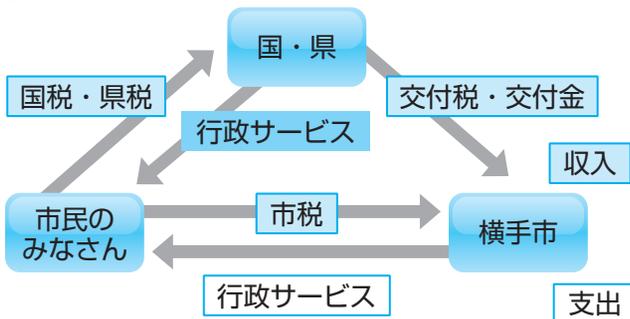
市の予算はまちづくりの設計図。
予算には私たちの1年間の暮らしと
未来がつまっています。
予算の中には、皆さんの要望や意見が
盛り込まれています。
市の2019年度予算の主な内容をご紹介します。

目 次

1	予算とは	1
2	横手市の予算	2
3	一般会計歳入(収入)の概要	3
4	一般会計歳出(支出)の概要	4
5	横手市総合計画体系図	6
政策別主要事業		
政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます	7
政策2	学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます	11
政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます	15
政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります	18
政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます	22
政策6	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます	26
政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます	28
6	資料	30

1 予算とは

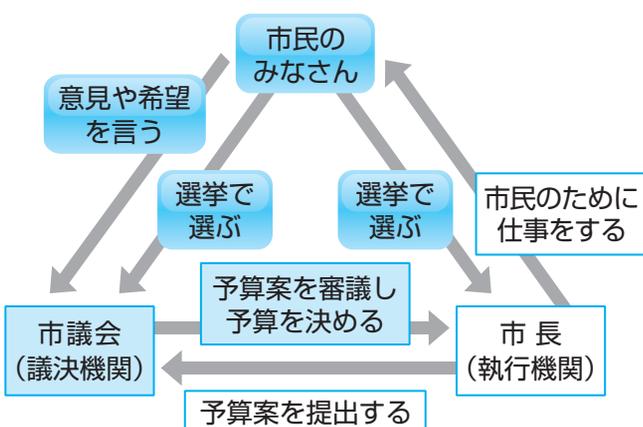
Q 予算って、何？



A 1年間の収入と支出の見積りです。

市民のみなさんから納めていただいている税金は、国、県の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国、都道府県や市区町村は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。

Q 予算って、どうやって決まるの？



A 市長が予算案を作り、市議会で審議されて決まります。

予算を決めるのは、市民のみなさんが選挙で選んだ市長と市議会議員です。

事業を行う担当部署が地域の状況などを見ながら、どのような行政サービスを行うべきかを計画します。その後、これを実施するため、社会情勢や財政状況などを考慮し、実際にどのくらいのお金があるのかを検討します。市長は、その検討結果に総合的な判断を加えて予算案を作成し、市議会に提出します。

市議会では、市民の声を代表する市議会議員がさまざまな意見を出し合って予算案を審議・議決し、予算が決まります。

2

横手市の予算

横手市の予算は、使いみちや収入源の違いから、3つの会計(一般会計・特別会計・企業会計)に分かれています。

会計別予算

一般会計	560億2,000万円	高齢者福祉や児童福祉、道路整備や学校教育など市役所の基本的な仕事をするための会計で、市の事業の大部分がこの一般会計に含まれます。
特別会計	253億8,091万円	一般会計と切り離して、特定の事業ごとに経理するための予算です。国民健康保険や介護保険、市営温泉施設など8の特別会計があります。
企業会計	176億3,000万円	独立採算の形で経理する民間企業に近い仕事をするための会計です。病院、水道、下水道の3つの企業会計があります。
合計	990億3,091万円	

横手市の予算を家計簿に置き換えてみました

市の歳入・歳出は家計における収入・支出とは異なるものですが、一般会計の収入を年収360万円(月収30万円)に換算した場合の家計簿を作成しました。

一か月の収入

- 給料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 187,657円
 - ・基本給・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70,993円
(市税、使用料手数料、諸収入などの自主財源)
 - ・諸手当・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116,664円
(地方交付税、地方譲与税交付金など)
- 医療費などに対する助成金・・・・・・・・ 59,450円
(国庫支出金、県支出金)
- 銀行からの借入(市債)・・・・・・・・・・・・ 40,891円
- 貯金の取崩し(繰入金)・・・・・・・・・・・・ 12,002円
- 合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300,000円

資産等の状況

- 預貯金(基金)・・・・・・・・・・・・・・・・ 787,476円
- ローン残高(市債残高)・・・・・・・・・・・・ 4,485,348円

一か月の支出

どんなこと(性質別)に？

- 食費(人件費)・・・・・・・・・・・・・・・・ 43,690円
- 医療費・教育費(扶助費)・・・・・・・・・・・・ 50,628円
- 銀行ローン返済(公債費)・・・・・・・・・・・・ 34,228円
- 光熱水費、電話料、日用品の購入(物件費)・・・ 47,819円
- 親戚への援助・町内会の負担金(補助費)・・・ 24,680円
- 家具、電化製品の購入(普通建設事業費など)・・・ 53,226円
- 兄弟への貸付(繰出金、投資・出資・貸付金)・・・ 37,624円
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8,105円
- 合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300,000円

何のため(目的別)に？

- 町内会選挙の手伝い(議会費)・・・・・・・・・・・・ 1,659円
- 家族全員に関すること(総務費)・・・・・・・・・・・・ 34,966円
- 子どもや親に関すること(民生費)・・・・・・・・・・・・ 84,169円
- 健康用品やごみ袋(衛生費)・・・・・・・・・・・・ 30,368円
- 家庭菜園(農林水産業費)・・・・・・・・・・・・ 19,620円
- 商店街の手伝い(商工費)・・・・・・・・・・・・ 12,187円
- 家の修理(土木費)・・・・・・・・・・・・・・・・ 33,711円
- 消火器買い替え(消防費)・・・・・・・・・・・・ 12,202円
- 学費(教育費)・・・・・・・・・・・・・・・・ 33,757円
- 銀行ローン返済(公債費)・・・・・・・・・・・・ 34,228円
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,133円
- 合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300,000円

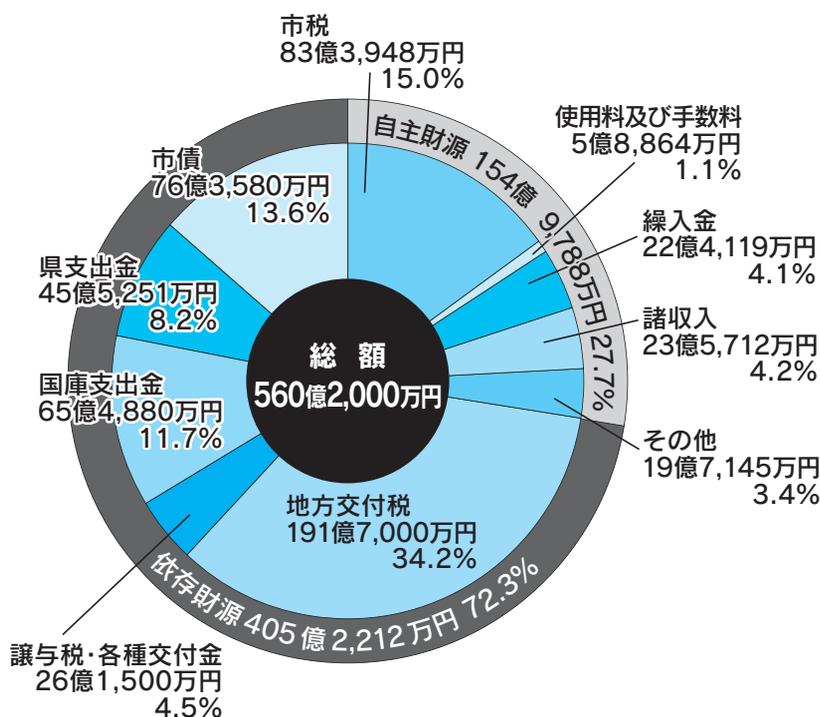
3 一般会計歳入(収入)の概要

ここからは、市民のみなさんに関係が深い一般会計の当初予算の内容についてお知らせします。

一般会計歳入(収入)の概要

市の歳入(収入)は、市民のみなさんに納めていただいた税金や公共施設の使用料、証明書の発行手数料など、自分たちの力で確保した【自主財源】と地方交付税や補助金など、国や県に頼っている財源【依存財源】に区分できます。

自分たちの力で確保できる自主財源は、わずか1/4(27.7%)程度です。残りは、地方交付税をはじめとした国や県からのお金や借金に頼っている状況です。依存財源のうち、地方交付税と譲与税・各種交付金は自由に使えるお金ですが、国庫支出金と県支出金は使い道が決められています。つまり、自主財源に地方交付税と譲与税・各種交付金を加えたお金(372億8,288万円、66.4%)が市の運営に大きな関わりを持っているといえます。



※端数処理の関係により、各項目の合計と自主財源・依存財源の数値は一致しない場合があります。

気になる!

あの予算をもっと知りたい 01

市の歳入で大きい割合を占めている一つに、『市債』がありますが『市債』って何ですか？

「市債」とは横手市が建設事業の実施に必要な財源を調達するために負う債務のことです。簡単に言うと「横手市の借金」です。では、なぜ借金をするのでしょうか。

新しく小中学校などの大規模な施設を建てる場合は、多額の費用が掛かります。仮に単年度で支出すると、限られた予算を圧迫するほか、必要とされている事業をカットしたり、サービスの内容を縮減するなどをしなければならなくなります。

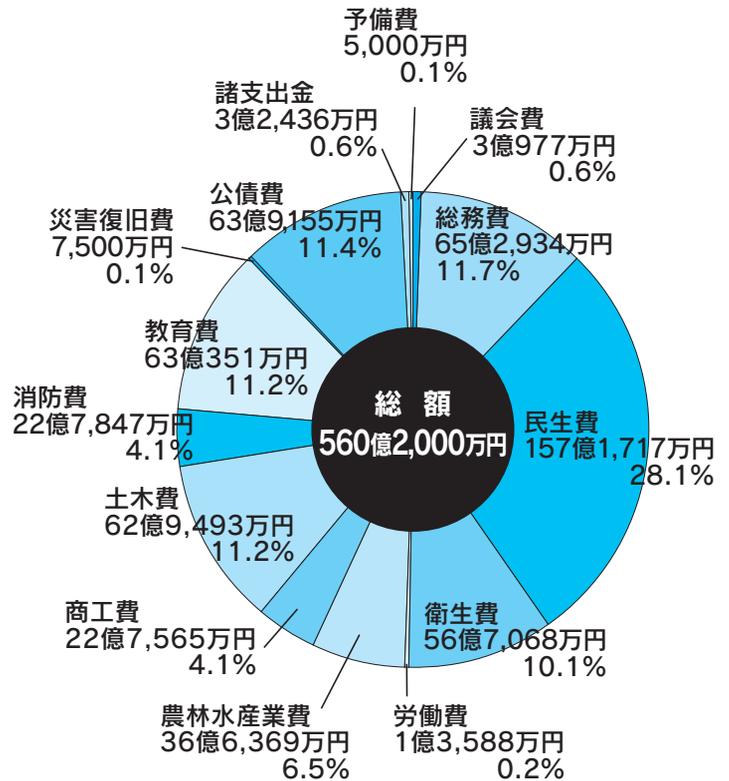
また、道路や公園などは将来にわたり利用することができますが、単年度の支出のみで整備すると、整備した時の住民の負担の割合が大きくなります。将来の世代は整備の費用を負担することなく施設を利用することができるため、世代間で不公平が生じます。しかし、市債を発行することで、世代間での負担の公平を調整することができます。

ただし、市債はあくまでも借金です。借金が増えると毎年返済に充てるお金が増えていくことになるので、自由に使える予算が少なくなってしまいます。そのため、市債の発行には長期的な視点で市の財政を考えることが必要となります。

目的別の概要

市の歳出(支出)を、土木や教育などの行政目的ごとに分類してみました。自治体の予算は、この行政目的ごとに分類して編成することになっています。この分類では、各部門ごとの大まかな予算の割合がわかります。当初予算では、福祉部門である民生費が28.1%と最も大きな割合を占めています。順に、総務費(11.7%)、公債費(11.4%)と続きます。

昨年度の当初予算と比較すると、教育費の割合が大きく増加しています。これは十文字地域小学校統合事業や老朽化がすすむ小学校、中学校の改修工事によるものです。また、衛生費、民生費、消防費も増加しています。衛生費は旧環境保全センターの解体によるものであり、民生費は保育所の整備に対する助成によるものです。消防費は西部地区の統合分署の建設工事に加え、救助工作車を更新するため割合が増加しています。



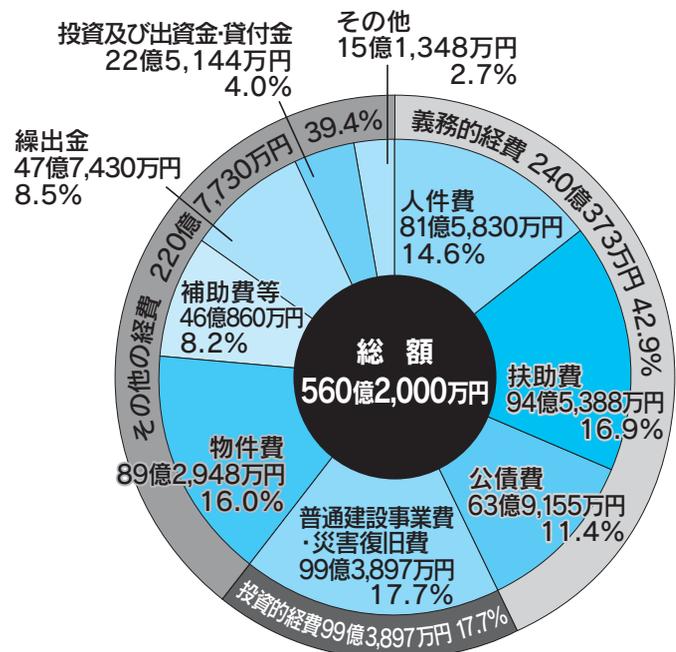
性質別の概要

続いて、市の歳出(支出)を、経済的な性質に基づいて分類してみました。人件費や借入金の償還など必ず支払わなければならない経費【義務的経費】と道路や建物の建設などの建設事業に使われる経費【投資的経費】、【その他の経費】に区分できます。

義務的経費は、職員の人件費や社会保障制度に使う扶助費、借金の返済にあてる公債費があり、42.9%を占めています。予算全体に占める割合は昨年度の当初予算と比較して1.9%減少しています。

投資的経費の主な内容としては、十文字地域小学校統合事業、雄物川庁舎整備事業、十文字地域多目的総合施設整備事業のほか、今年度より新たに大雄地域保育所、植田・睦合統合保育所の整備に対する助成を実施します。これらの事業により、前年度比で約13億円の増となっています。

その他の経費には市の仕事を行う上で必要な事務費である物件費や各種団体への補助金などの補助費等があります。



政策別の概要

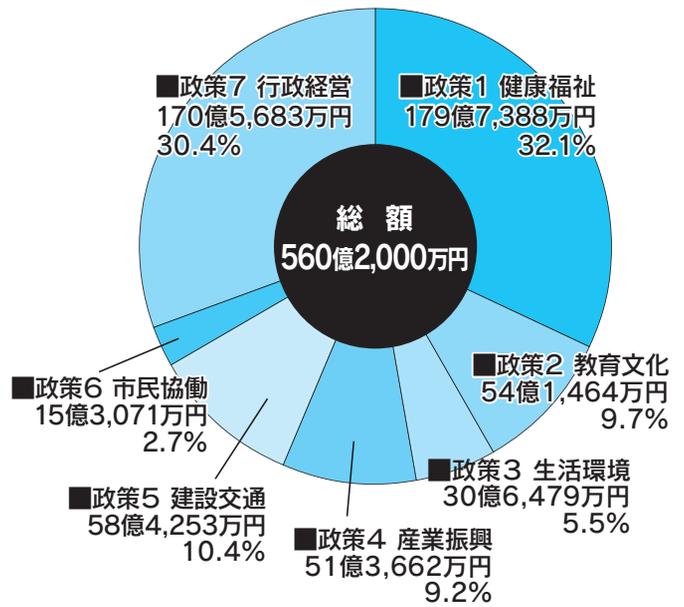
続いて、市の歳出(支出)を、総合計画の政策別に分類してみました。市の最上位の計画である総合計画(6ページ参照)では、まちの将来像を「みんなの力で 未来を拓く

人と地域が^{かがや}くまち よこて」とし、これを実現するための重点目標を定め、その目標を達成するための7つの基本目標と政策を掲げています。この7つの政策は、予算配分の骨格となるもので、今後の市の力を入れる分野を見てとることができます。その7つの政策別の予算をご紹介します。

最も予算配分が大きい政策は、健康福祉に関する政策(政策1)(32.1%)です。この政策は子育てや住民が健康に暮らせるためのまちづくりをすすめる予算となっています。次いで予算配分が大きいのは行政経営(政策7)(30.4%)で、こちらは人件費や公債費などの予算が大部分を占めている固定的なものです。以降順に、建設交通(政策5)(10.4%)、教育文化(政策2)(9.7%)と続きます。

市のすべての事業は、この7つの政策の中に入っており、総合計画で掲げた目標を達成するための予算という位置づけを明確にして各種事業を展開しています。

6ページからは、この7つの政策をさらに34の施策に分けてご紹介します。



気になる

あの予算をもっと知りたい 02

横手市の人口は、平成31年2月末現在、90,124人です。平成31年度一般会計当初予算を市民一人当たりへ換算すると、約62万円になります。

1年間の収入

●自主財源	
市税	92,533円
使用料及び手数料	6,531円
繰入金	24,868円
諸収入	26,154円
その他	21,876円
●依存財源	
地方交付税	212,707円
譲与税交付金	29,016円
国庫支出金	72,664円
県支出金	50,514円
市債	84,725円
合計	621,588円

市民一人当たり いくらお金が使われるの？

1年間の支出

何のため(性質別)に？

●義務的経費	
人件費	90,523円
扶助費	104,899円
公債費	70,919円
●投資的経費	
普通建設事業費・災害復旧費	110,281円
●その他の経費	
物件費	99,080円
補助費等	51,136円
繰出金	52,975円
投資及び出資金・貸付金	24,982円
その他	16,793円
合計	621,588円

何のため(目的別)に？

●議会費	3,437円
●総務費	72,448円
●民生費	174,395円
●衛生費	62,921円
●労働費	1,508円
●農林水産業費	40,652円
●商工費	25,250円
●土木費	69,847円
●消防費	25,281円
●教育費	69,943円
●公債費	70,919円
●その他	4,987円
合計	621,588円

将来像

みんなの力で 未来を^{ひら}拓く 人と地域が^{かがや}燦くまち よこて重点
目標働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち
安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち

政策 健康福祉

1

伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます

施策 1-1 子育て支援の充実

施策 1-2 健康な心と体づくりの推進

施策 1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進

施策 1-4 障がい者(児)福祉の充実

施策 1-5 低所得者福祉の充実

施策 1-6 福祉を支える人材の確保と育成

政策 教育文化

2

学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます

施策 2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

施策 2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備

施策 2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進

施策 2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進

施策 2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

政策 生活環境

3

豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます

施策 3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進

施策 3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全

施策 3-3 災害に強いまちづくりの推進

施策 3-4 循環型社会の一層の推進

施策 3-5 エネルギーの地産地消の推進

政策 産業振興

4

魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

施策 4-1 魅力ある農林業の振興

施策 4-2 活気ある商業の振興

施策 4-3 活力ある工業の振興

施策 4-4 観光・物産資源の発掘と発信

施策 4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策 建設交通

5

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

施策 5-1 雪国の快適な暮らしの実現

施策 5-2 快適な移動空間の実現

施策 5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実

施策 5-4 地域拠点整備による市街地の活性化

施策 5-5 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理

施策 5-6 市民がくつろげる公共空間の整備

政策 市民協働

6

やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます

施策 6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実

施策 6-2 男女が尊重し合う社会づくり

施策 6-3 情報を共有する環境の整備

施策 6-4 市内外との交流連携の推進

政策 行政経営

7

横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます

施策 7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立

施策 7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進

施策 7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実